

精神保健福祉

みやざき



宮崎県精神保健福祉連絡協議会

61

2021

表紙説明

「青島」

(宮崎市 提供)

裏表紙説明

「日向景修園」

(宮崎市 提供)

「青いＴシャツ」 に込められた願い

この青いＴシャツ（愛称：青Ｔ）には、
人知れずいつもたった一人ぼっちで悩み続ける方に向けて、
隣にいる誰でもかまわないから 何時でもかまわないから 少しだけでもかまわないから
「ひとりで悩まないで 誰かに話してみませんか」
というメッセージが込められています。

巻 頭 言

自死の増加と宮崎いのちの電話

「“死にたい”は生きたいけれど“死にたいほどすごくつらい”という心の叫びなのだ」と放送大学教授・臨床心理博士の小野けい子氏は述べている。

精神保健福祉に係る職業に就いている私達は毎日の様にこの言葉に接し、それを受けとめているはずである。数ヶ月前、高校入学以来の親友からの「痛くない死に方はないかな」との電話を受け止めきれなかった自分を悔いている。

平成22年以降10年連続で減少してきた自死が新型コロナウイルス感染拡大以降に増加に転じ、女性、若者に顕著との指摘がある。宮崎県でも令和2年は前年より26名増加であったが、男性の3名増に対して女性は23名増で、年齢に関しては10代、20代、30代で25名増であった。更に、令和3年になってもその傾向はより深刻で、6月までの半年間で全国で1,096名増（男性406名増、女性690増）と既に昨年1年間の増加をうわまわっている。

新型コロナウイルス感染拡大による社会・経済的影響は悪化の一途である。開局3年目をむかえた宮崎いのちの電話にもこれに関連した電話が多くかかっている。深夜、早朝に1時間を超える電話も多く、対応しておられる相談員の方々に感謝の言葉しかない。

そしておどろくことに、コロナ禍で大変なこの時期に相談員3期生に24名の方が応募していただき、17回、60時間の研修をおえて10月から活動に参加していただいている。これまでは毎月10日と月に4～5回の夕方3時間のフリーダイヤル以外はナビダイヤルのみの受付だったが、今後は普通局番とナビダイヤル、フリーダイヤルの3本立ての体制で宮崎県民による宮崎県民の為の“いのちの電話”活動をより充実したい。皆様の御支援・御協力をお願いしたい。

令和2年度電話相談受信件数一着信率				
月	ナビダイヤル 受信件数	ナビダイヤル 着信率	フリーダイヤル 受信件数	合計受信件数
R 2年 4月	115	69.8%	8	123
5月	90	58.1%	10	100
6月	98	64.4%	7	105
7月	101	46.3%	13	114
8月	159	25.7%	12	171
9月	201	21.8%	16	217
10月	269	29.3%	15	284
11月	212	27.0%	15	227
12月	205	30.5%	9	214
R 3年 1月	217	32.0%	10	227
2月	237	26.5%	8	245
3月	231	26.6%	10	241
合計	2,135	38.2%	133	2,268

宮崎いのちの電話 相談用電話番号

0 5 7 0 - 7 8 3 - 5 5 6

おこなおう なやみ ところ

活動時間（365日）

月・水・金・日曜 夜9時から翌朝4時

火・木・土曜 夕方6時から翌朝4時

【宮崎いのちの電話ボランティア相談員第4期生募集中】

お気軽に下記事務局まで問い合わせください。

TEL：（0985）33-9557（月～金 朝9時から夕方5時）

あなたの声に救われるいのちがあります。

あなたもこの活動に参加してみませんか？

目 次

巻 頭 言

宮崎県精神保健福祉連絡協議会 会長 高宮 眞樹	1
-------------------------	---

第60回 宮崎県精神保健福祉大会（令和2年度開催）

「みんなで築こう 笑顔広がる理解ある社会」	4
-----------------------	---

精神保健福祉事業功労者（令和2年度）

宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰（個人4名、2団体）	5
------------------------------	---

表彰受賞者の声（令和2年度）

NPO 法人 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会

宮崎県「楠の会」	（宮崎市）	8
----------	-------	---

江南よしみ地域生活支援センター	坂本 祥宏（宮崎市）	9
-----------------	------------	---

日南市レクレーション協会	壹岐 道子（日南市）	10
--------------	------------	----

「風の道」家族の会	神坂 秋吉（都城市）	11
-----------	------------	----

傾聴ボランティア	（高原町）	12
----------	-------	----

宮崎県断酒友の会	櫻井 良平（日向市）	13
----------	------------	----

各地域精神保健福祉協議会の動き

宮崎地域精神保健福祉協議会	14
---------------	----

日南串間地域精神保健福祉協議会	15
-----------------	----

都城北諸地域精神保健福祉協議会	16
-----------------	----

西諸地域精神保健福祉協議会	17
---------------	----

西都児湯地域精神保健福祉協議会	18
-----------------	----

日向入郷地域精神保健福祉協議会	19
-----------------	----

延岡地域精神保健福祉協議会	20
---------------	----

西臼杵地域精神保健福祉協議会	21
----------------	----

精神障がい者支援組織・グループの動き

特定非営利活動法人宮崎県精神福祉連合会	22
---------------------	----

宮崎県断酒友の会	23
----------	----

障がい者の就労促進等に取り組む事業所

社会福祉法人清樹会 地域生活支援センターすみよし (地域活動支援センターⅠ型)	24
特定非営利活動法人 ふれあいスポットかがやき (就労継続支援B型事業所)	25
ガルビ就労支援サービス合同会社 (就労移行支援・就労継続支援A型)	26
NPO法人西諸地域活動センター菜の花 菜の花作業所 (就労継続支援B型事業所)	27
チャレンジキャンパス くうねる遊ぶ (生活訓練・就労継続支援B型)	28
ぐらんま茶寮 (就労継続支援A型事業所)	29
福丸縁(就労支援B型事業所)	30
有限会社はーと介護(就労移行支援事業・就労継続支援B型事業)	31
社会福祉法人光紀会 ひかり工房 (就労移行支援事業・就労継続支援B型事業)	32
社会福祉法人日之影町社会福祉協議会 フラワーパークのぞみ工房 (就労継続支援B型)	33

宮崎県精神保健福祉連絡協議会だより

令和2年度事業実績	34
令和3年度事業計画	35
宮崎県精神保健福祉連絡協議会 役員名簿	37
宮崎県精神保健福祉連絡協議会 会員名簿	38

宮崎県精神保健福祉センターからのお知らせ	40
----------------------------	----

第60回宮崎県精神保健福祉大会

テーマ：「みんなで築こう 笑顔広がる理解ある社会」

1 開催日時 令和2年10月31日（土）12:20～15:30

2 場 所 都城市総合文化ホール

3 参加人数 311名

4 大会内容

(1) アトラクション

都城市民吹奏楽団・霧島パフォーマンスクラブ



(2) 式典（表彰）

宮崎県知事表彰	3名	1団体
宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰	4名	2団体
宮崎県精神科病院協会会長表彰	10名	



(3) 体験発表

「ピアサポーターとしての体験をととして」
ピアサポーター



(4) 特別講演

演 題 「どくともマンボウ家の素顔ーイキイキと元気に生きるコツー」
講 師 斉藤 由香 氏

(5) 展示・販売コーナー

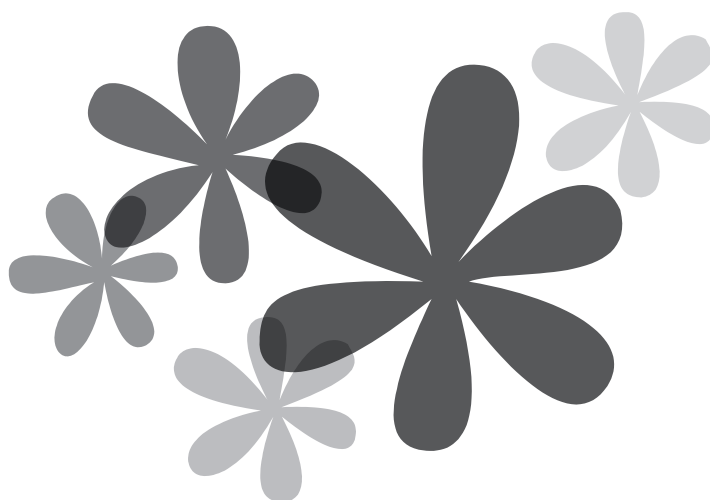


宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰（令和２年度）

氏 名	住 所	所属・職名（職種）	功 績 概 要
NPO 法人 KHJ 全国ひきこもり 家族会連合会 宮崎県 くす かい 「楠の会」	宮崎市	ひきこもり家族会	平成１３年に設立、毎月１回の家族会開催を継続し、例会や専門家を招いた研修会を行い、活動場所を宮崎支部、都城支部、日南支部へ順次拡大し、県内各地で定期的に家族会を実施している他、広報誌を定期発行し、会員や関係機関に広く普及啓発を図っている。 さらに、令和元年７月から当事者向けの「居場所」を開所し、「生きづらさを抱えているのは一人ではない。自分が自分のままでいられる場所であり、言いつばなし、聞きつばなしでいつ来てもいい。」という趣旨で活動している。 なお、講演会の講師として看護協会などに会員を派遣し、地域の精神保健福祉の向上に貢献している。
さかもと よしひろ 坂本 祥宏	宮崎市	江南よしみ地域 生活支援センター センター長	平成９年に医療法人芳明会早稲田内科神経科医院（現：早稲田クリニック）に入職し、生活訓練施設等で指導員として、当事者や家族の相談支援業務に従事し、江南よしみ地域生活支援センターでは設立時から関わり、開所時からセンター長代理、平成２４年からはセンター長（現職）を務め、施設の運営や利用者の相談支援に従事している。常に、現場の声を聞くことを大切にしており、利用者の希望や悩みを聞き、地域において精神障がい者が安心して自立した生活が送れるよう支援体制の構築・強化に尽力している。また、スポーツをとoshした精神障がい者の生きがいづくり推進にも熱心に取り組んでおり、スポーツを通じて外出の機会や地域とのつながりを持つこと、また目標に向かって自身の体調や生活の管理をすることなど、精神障がい者の自立に向けた取り組みとなるよう、支援を行っている。 精神保健福祉の普及啓発活動にも積極的に従事し、社会福祉協議会主催「精神保健福祉講座」講師など多方面で活躍している。

氏 名	住 所	所属・職名（職種）	功 績 概 要
い き 道子 壹岐	日南市	日南市 レクリエーション協会 事務局長	昭和５９年の日南市レクリエーション協会設立時より会員として活動し、平成８年からは同協会の事務局長に就任、現在は宮崎県レクリエーション協会副会長も努めている。 平成２７年からは、日南串間地域精神保健福祉協議会が開催している精神障がい者・家族・支援者交流会において、参加者が他者と楽しく、安全に交流できるようレクリエーション協会の中心となって会の開催に貢献している。 また、事務局長として、協会に所属する個人会員約６０名と団体会員５００名以上をまとめあげ、児童から高齢者、障がい者等を対象に幅広く活動を行っている。 長年に渡り、様々な場面で「心を元気にして帰れるように」と地域住民の心身の健康維持、向上に貢献している。
かみさか 秋吉 神坂	都城市	「風の道」家族の会 会長	平成２７年に社会福祉法人「風の道」利用者の家族会を設立。会長に就任し、家族会を２ヶ月に１回開催し、家族から悩みを聞く活動の他、家族間の悩みを共有する場を設けるなどしている。 平成２８年より、宮崎県精神福祉連合会の理事に就任し、県内の精神福祉に関する活動はもとより、現在では精神障害者の家族会立ち上げのノウハウを活かし、日向市の家族会、小林市の家族会、近隣の鹿児島県曾於市の悩みを抱える家族に講演などを通じてアドバイスをするなど、多方面での活動を行っている。

氏 名	住 所	所属・職名（職種）	功 績 概 要
けいちよう 傾聴ボランティア	高原町	傾聴ボランティア	高原町が高齢者を対象に実施したアンケート結果をもとに「茶飲み場」に足を運べない方で、自宅訪問を希望する高齢者宅への戸別訪問を平成２４年から開始した。 現在４名の傾聴ボランティアが活動しており毎年度、延２０００件あまりを訪問し、訪問先では、様々な話しに耳を傾け、傾聴ボランティアが来るのを楽しみに待っている高齢者も多いという。状況に応じ、社会福祉協議会などとも連携しながら、町内全域を対象に訪問を実施するなど、長年にわたって地域の高齢者への関わりを続けている。
さくら い りょうへい 櫻 井 良平	日向市	宮崎県断酒友の会 日向支部長	平成１９年にアルコール依存症の家族をきっかけに宮崎県断酒友の会日向支部に入会。会員時代から、県内外で開催される講演会や研修会に参加し、積極的に情報収集を行い、県内外の会員との交流を図る等、熱心に活動を行ってきた。 平成２７年度から 日向支部長に就任。家族による支援の重要性を痛感し、例会の開催のほか、支部活動の発展のために、行政等の関係機関を訪問し、機関誌や広報誌を配布する等、周知に努めている。また、地域イベントでの啓発及び酒害相談に携わるほか、研修会での体験発表等、家族の立場から様々な場で精力的に活動を継続している。



NPO 法人 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会
宮崎県「楠の会」

小中学校までは「不登校」、高校生から大人になると「ひきこもり」といわれます。「家族以外の人と交際をほとんどせず、六か月以上続けて自宅にひきこもっている状態」をいいます。甘えているわけではありません。ひきこもりの人というのは、誰よりもまず本人が、自らひきこもり状態にいる事を恥じ、まるで修行僧のように欲望を捨てて暮しています。

2001年途方に暮れる親たちの会「楠の会」が宮崎市に結成されました。ひきこもりという言葉がまだマスコミにも取り上げられることの少なかった時代です。親たちは、わが子の状況を嘆き悲しみ、世間に知られない様ひっそりと、何とか自分たちだけで解決しようともがき苦しんでいました。

第一回の例会で親たちは、堰を切ったように涙を流しながら思いの丈を語り合いました。一人だけではなかった。襲いかかった不安や苦しみを共感できる仲間に出会ったことにより、解決の糸口を見つけようとする気力がわき上がってきたのです。ひきこもりの親の会はこのようにして始まりました。

この度は、第60回宮崎県精神保健福祉大会におきまして、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰をいただき、誠にありがとうございました。自分たちのこととして活動してきたことが、このように社会的に表彰されるとは思ってもいませんでした。20年の活動の成果がどれほどのことであるかはわかりませんが、同じ悩みを持つ者たちが力を合わせて得られるもののすばらしさを、つくづく感じています。この間、親子のコミュニケーションを取り戻すことが出来た家庭の中から、社会復帰を果たした子どもさんの報告も幾つか聞いています。これを励みにまた心を奮い立たせて活動を続けていきたいと思っています。



江南よしみ地域生活支援センター
センター長 坂本 祥宏

この度は、第60回 宮崎県精神保健福祉大会において、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰を頂き、誠にありがとうございました。心から感謝いたします。

受賞の連絡をいただいた時は、驚きと「私でいいのかな？」という思いで一杯でしたが、これまでこの仕事に携わってからを振り返る良い機会となりました。

平成9年に指導員として、医療法人芳明会に入職し、様々な部署（生活訓練施設福祉ホーム・地域生活支援センター等）で諸先輩方の指導の元、たくさんの経験を積ませていただきました。また、社会福祉法人敬尚会 江南よしみ地域生活支援センターは、開設準備の段階から携わらせていただき、地域の方々に認めていただくことの難しさと共に日常的な地域との交流の大切さも強く実感したものです。

当時を振り返ると、新規事業であったため、御利用者様が望むことはなんだろうか？どうしたら満足してもらえるだろうか？等悩み考える日々でした。その都度、周りのスタッフ・御利用者様には助けていただき感謝しています。

その中での取り組みとして、スポーツを通して仲間との親睦を図り、体力の向上と社会人としての健全な精神の育成を目指し、お互いの良き相談相手として交流を深めることを目的として、江南よしみフェニックスを立ち上げ、スタッフが一緒に活動できる環境をつくり、定期的な練習や大会等にも積極的に参加して、選手間だけでなく、地域の方々との交流の機会を増やしてきました。今思うと、初めて県外の大会に参加した時は、精神面・費用面でどうなるだろうか？もし体調が悪くなったら？と不安もありましたが、御利用者様と日常とは異なった環境で触れ合い、一緒に楽しみ、喜び合い、たくさんの笑顔がみたい一心で、スタッフと共に突っ走っていたと思います。『また行こう。楽しかった』と言う声を聞くと続けていてよかったと思います。

このようなすばらしい賞をいただいた誇りを胸に秘め、これまで以上に御利用者様や地域の方々との関わりを大切にして、共に悩み、考え、解決の方法を見つけてたくさんの笑顔に出会えるように精進していく所存です。



日南市レクリエーション協会
事務局長 壹岐 道子

第60回 宮崎県精神保健福祉大会において、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰を頂きまして、大変光栄に思い、協会会員一同、これからの一歩前進できる弾みと喜びに感謝申し上げます。

日南市レクリエーション協会は1979年に発足し、共に生きる「共生社会」、共に遊ぶ「共遊文化」を創っていくことにこころがけ、日々の生活の中にスポーツ・レクリエーション活動を取り入れ「いつでも、どこでも、誰でも」参加できる喜びを通して、「たくましい体づくり」「豊かな心」を育むよう研鑽に努めています。

生涯学習支援では、すぐれもん講座、放課後子ども教室、高齢者教室等の支援、福祉活動支援では、地域のサロン、ゆめちゃん健幸クラブは月2回の支援をしています。

日南市社会福祉協議会のマスコット、フクちゃんの「フクちゃん音頭」の振り付けをして、地域のサロン等で体操として喜ばれています。

スポーツ・レクリエーション活動では、ミニバレーボール大会、ミニテニス大会、ニュースポーツ（チャレンジ・ザ・ゲーム）の交流会を年4回開催して、120名の会員で普及活動に精出しています。

2002年から「つわぶきハーフマラソン&車いすマラソン大会」が開催され日南市での「おもてなし」の料理は何だろうと話し合い、「おかわり」の声掛けで、今でもランナーから豚汁を食べに来ましたと、走り終わった後の汗だくの中で2～3杯のおかわりです。

スタート時から今では3,000食作り、選手の素敵な笑顔に「おもてなし」の心を持って帰られるように味付けしています。

2015年から日南・串間地域での精神障がい者、家族、支援者交流会では誰でも安心して参加出来るプログラムを考慮し、点数のあるゲームには何回もチャレンジされ達成感と喜びの躍動を感じています。

レクリエーション活動は、障がい者、高齢者、世代間交流、グループや集団の中でも、人と人をつなぐ媒介として、大切な役割を持っています。

今後とも、心と心をつなぐ、レクリエーションの力で人々が動き出したくなるような仕掛けを発信し、生きがいがづくり、心の元気づくりを目指します。この度は、ありがとうございました。



「宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰を受けて」

「風の道」家族の会
会長 神坂 秋吉

この度は、第60回宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰をいただき、誠にありがとうございました。

私はサラリーマン生活45年の間に、精神疾患により4人の若い同僚を見送りました。そのことがきっかけとなり、仕事の合間に悩みを聞いたり、少しずつ学習するようになりました。ある職場では、悩みを抱える若い同僚が多かったです。そこで、所属長にこれ以上頑張れと励ましたら、死にますよ。と話したら、あなたは俺を脅すのか。と怒られたこともあります。それほど私が勤務した、30年前の多くの職場は、精神の病に対する認識は弱かったことをはっきりと覚えています。

そのような辛い職場での経験を活かして、退職後に地元で家族の会を立ち上げました。また、特定非営利活動法人 宮崎県精神福祉連合会の理事を経験するなど、今日に至っています。

新型コロナウイルスによる感染症が2年あまり猛威をふるって、特に若い女性の皆さんが、生き辛い世の中になって来ています。

そこで最近の活動は、地域の公民館等の役員会などで、少し前の民生委員の経験なども活かしながら、多くの身近な住民の方に自己紹介に加えて、精神疾患を正しく理解していただくように心がけています。

また、自宅が鹿児島県の県境に近いこともあり、鹿児島県の精神保健センターや、ボランティアグループ等とも時々交流もしています。

社協等の若い同僚には、電話やファックスは勿論のこと、スマホなどを使って最近の厳しい現状にに応じて、積極的に連絡をして、悲しい事故につながらないように継続して欲しいと、力強く励ましたりしているところです。

今回の受賞を励みにして、細長く活動して行く元気をいただきました。今更ながら日常活動の大切さを感じています。



高原町傾聴ボランティア



第60回宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰をいただき、誠にありがとうございます。大変光栄なことで厚く感謝申し上げます。

高原ハートムとして、自殺防止のための傾聴ボランティアを「1日30人の方に話かけをする」ことを目標に始めてから、気が付けば10年が経っていました。

最初は、専門的なことが何も解らず、利用者の方々の顔色や体調を見守ることから始めました。少しずつお話が聞けるようになった時、生活環境や状況によって、それぞれに悩みも違い、苦しみもある事を実感いたしました。

利用者の方々に寄り添い、共に泣き、共に笑い、共に成長し、ここまでやっていくことができたことに感謝しています。

これからもたくさんの方々と交流し、感謝を忘れず長く長く続けていくことができるよう頑張ります。

寺師 勝子

宮崎県断酒友の会
日向支部長 櫻井 良平

この度、第60回宮崎県精神保健福祉大会におきまして、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰を頂きとても光栄です。これからの励みになります。

私は、息子がアルコール依存症を発症し、入退院の繰り返しをしていました。当初、このような状態の中、どこに相談したら良いのかを思案していました。ただ主治医に聞いても自分で明確な状況が把握できない中、平成19年に家族で（一社）宮崎県断酒友の会日向支部に入会しました。

「断酒会」と巡り会い、入会し、例会に参加すると何か微かな希望が見える様になりました。然し、そう易々と治るものではなく、アルコール依存症は一生治らない病気だとも認識していました。主治医から親子一緒に暮らしては社会復帰の妨げになると言われ、平成22年に思い切って別居することにしました。

現在息子は熊本市内のアパートを借り、生活保護で暮らしています。息子は他に双極性精神障害も併せ持ち、今も交互に発症を繰り返す状況です。勿論、入退院の繰り返しをしています。今は病気のこと一切口出ししません。これは、本人の気づきがないと回復していかない病気だからです。本人はAAで活動していて、現在はコロナ禍で、例会もなく、リモートでの活動をしている状況です。

我々は夫婦で日向支部で活動しています。日頃は会員も少ないですが、例会を開催し、延岡支部にも参加しています。行政等、精神科病院、日向市生活相談・支援センター「心から」を訪問し、機関誌や広報誌を配布するなど、周知に努めています。また、情報収集も行い、地域イベントでの啓発活動及び酒害相談に関わるほか、各種発表会等に参加しています。今後も日向保健所と連携して活動していきたいと思っています。



イベントでの活動の様子

宮崎地域精神保健福祉協議会

当協議会は、宮崎市及び東諸県郡における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に活動しています。

【こころの健康づくり講演会】

期 日：令和3年3月5日（金）
場 所：宮崎県総合保健センターからオンラインで配信
参 加 者：52名
内 容：講演 「不安やストレスとの付き合い方
～コロナ禍における心の健康～」
講師 医療法人清芳会 井上病院
精神科医 米良 誠剛 氏



（オンライン配信の様子）

＜内容＞ （※講演内容を一部抜粋）

不安やストレスの生まれる機序やその対処法について話していただきました。

- ・人の成長にとって「ストレス」は必要な要素であり、大事なことは心のしなやかさ。
- ・心が疲れているサインに気づいたら休養（睡眠）を摂る。朝、決まった時間に起きて光を浴びて、体内時計をリセットすること。
- ・頑張った後に疲れるのは当たり前のこと。頑張ることと同じように休むことが大切。
- ・自分の考え方のクセを知り自分を苦しめる考えを前向きに変えていく訓練（認知行動療法）。
- ・健全であれば、日常はちょっと不幸。生活している限り「問題は必ず起こる」「必ず老いる」「自分を嫌っている人は必ずいる」「いつかはコロナにかかる」。不完全さを受け入れること。
- ・「なぜ頑張れないか」ではなく「なぜ頑張れたか」に目を向けること。頑張ることは当たり前ではない。

＜参加者の声＞

参加者からは「悩んだり、落ち込んだりすることは大切だということを分かると、すごく楽になると思った。」「自分をほめてあげることから始めたい。」「落ち込まない、ではなく、落ち込んでも回復するという考え方を大切にしたい。」などといった声が多く寄せられました。

【協議会だより「ゆとり」発行】

精神保健福祉に関する情報提供と、協議会の活動報告を中心に編集した、宮崎地域精神保健福祉協議会だより『ゆとり第25号』を発行しました。

新型コロナウイルス感染症の長期化による心の健康への影響が懸念される状況にあり、「新型コロナウイルス感染拡大で不安を感じていらっしゃる方へ」と題し、ストレスによる心身の変化のサインや対応の方法等について記事を掲載しました。

日南串間地域精神保健福祉協議会

当協議会は、日南市、串間市における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に活動しています。

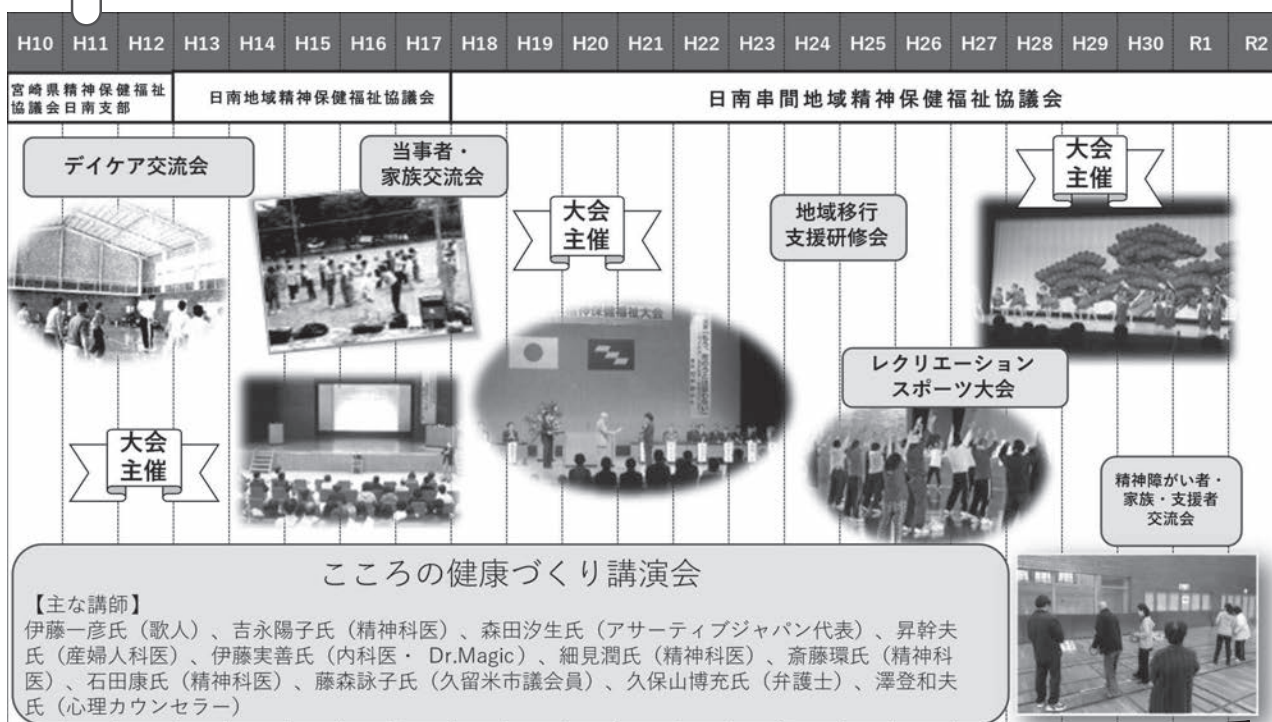
これまで20年以上に渡り、精神障がい者やその家族が住み慣れた地域でその人らしく生活ができるよう、心身の健康増進を目的として当事者同士の交流会や家族同士の交流会等を開催してきました。

また、「こころの健康づくり講演会」と銘打って様々な著名人をお招きし、時には笑いあり涙ありの多種多様な講演会を企画、開催してきました。

近年は、精神障がい者やその家族、支援者、地域住民等がレクリエーション等を通じて交流を深めるとともに、精神障がい者に対する理解を促進することを目的にスポーツ大会等を開催しています。

その他にも、精神障がい者当事者会や家族会が円滑に運営できるよう助成を行ったり、地域住民等へ知識の普及啓発を図るために協議会誌の作成、配布を行っています。

これまでの協議会の動き



令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、交流会等の活動はできませんでしたが、今後も引き続き誰もが住みやすい地域づくりに取り組んでいきます。

都城北諸地域精神保健福祉協議会

当協議会は都城市、三股町における精神保健福祉の推進を図ることを目的に活動しています。主な活動としては、家族会等への活動助成や精神障がい者支援ネットワークを結成し、講演会や家族交流会、普及啓発イベントの企画、協議会だよりの発行を行っています。

【こころの健康づくり講演会】

日 時：令和2年11月14日（土）午後2時～午後4時

場 所：都城中央公民館 大会議室

参加者：54名（一般、相談支援事業所職員、就労支援事業所職員等）

内 容：①講演「発達障がいとうつについて」

講師：宮崎大学安全衛生保健センター教授 武田龍一郎 氏

②講演「本人を中心に～就労支援事業所の当事者との関わりについて～」

講師：社会福祉法人こころ 施設長 蓑部千鳥 氏

③講演「当事者からのメッセージ」

講師：就労支援事業所 利用者

武田氏の講演では、「大人の発達障がい」について、支援側としては辛抱強く、誠実に接しながら、その人を理解するプロセスが大切である。と講演いただきました。

また、蓑部氏の講演では、事業所が当事者の社会的居場所として役割を果たしていけるよう、本人から得意・不得意なこと、苦手な関わり方など、個別のアセスメントを丁寧に行うことを大切にしていると講演いただきました。

最後に、当事者からのメッセージとして、当事者の個別の特性を理解し、真に困り果てる前に少し手助けをいただきたい。そうしていただくことで、穏やかに生活を送ることができる。「障がい者」ではなく、「少し変わった人」として生活することが願いであり、今の目標である。とお話いただきました。

講演会をとおして、参加者からは、「本人の苦悩（困り感）を理解することが大切だとわかった。」など感想をいただき、大人の発達障がいとうつに対する理解と関わり方、当事者の経験について学ぶ機会となりました。



【精神障がい者家族交流会】

日 時：令和2年11月18日（水）午後2時～午後3時半

場 所：都城保健所 多目的室

参加者：13名（家族（6名）、精神科病院職員、相談支援センター職員等）

内 容：統合失調症患者の家族のみを対象とした座談会。

就労や、将来の患者本人の生活について、意見交換を行いました。



【協議会だよりの「オアシス」の発行】

令和3年3月に協議会だよりの「オアシス」を発行しました。「突撃！地元の事業所さん」と題して、就労継続支援B型事業所「まほろば」の紹介等を掲載しています。

西諸地域精神保健福祉協議会

当協議会は、小林市、えびの市、高原町における精神障がい者の福祉の増進と地域における精神保健の向上を図ることを目的に活動しています。

【西諸地域精神障がい者持ち回り作品展示会】

例年、文化交流会として「こすもす祭」を開催しておりますが、令和2年度は新型コロナウイルスの流行状況により、「こすもす祭」を開催することができなかったため、各市町で作品の展示会を実施しました。

◇開催期間◇ 令和2年11月10日～令和3年1月10日

◇場 所◇ 小林市立図書館 小林市TENAMUビル
えびの市役所 えびの市民図書館 高原町役場

◇参加機関◇ ①医療法人浩然会内村病院 ②医療法人小林保養院 白寿会
③地域活動支援センターゆるいとタウンとんでーの
④スマイルハウス ⑤えびの支援センタービーだま
⑥サポート友喜たかはる ⑦えびの福祉作業所
⑧NPO法人西諸地域活動センター菜の花作業所
⑨小林市障がい者自立支援協議会地域支援部会



【協議会だより“ときめき”第22号の発行】

令和3年3月に協議会だより“ときめき 22号”を作成し、関係機関や会員へ配布しました。協議会の活動報告や宮崎県精神保健福祉大会の様子について紹介しています。

西都児湯地域精神保健福祉協議会

当協議会では、西都市、高鍋町、新富町、西米良村、木城町、川南町、都農町における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に様々な事業を行っています。

【出前講座】

日程：令和2年10月15日 テーマ：「障がいを持つ方から話を聴いて学ぼう」
(たか鍋まごころサポーター養成研修)

本協議会では、精神障がいに対する理解促進及び普及啓発を目的に、当事者及び会員が集会等の場に出向く活動をしています。

令和2年度は、たか鍋まごころサポーター養成研修において、当協議会から当事者2名を派遣し、体験発表をしてもらいました。



【協議会だより「心と心のたより」の発行】

令和3年3月に協議会だより「心と心のたより22号」を発行しました。
精神保健福祉事業功労者表彰や地元の家族会の活動紹介を掲載しています。



【社会資源リーフレット・マップ】

西都児湯管内の精神保健・医療・福祉に関する情報が記載されたものを2年に1度見直し、発行しています。



リーフレット

マップ

日向入郷地域精神保健福祉協議会

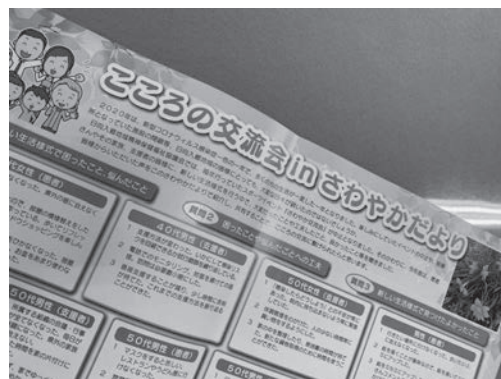
当協議会は、日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村内の 24 の関係団体及び賛助会員により構成され、精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に活動しています。

【こころの交流会 in さわやかだより】

日向入郷地域では、精神障がい者の社会参加と、精神保健福祉に関する理解促進を目的に、毎年、スポーツを通じた交流の輪を広げる『さわやか交流会』を開催しています。

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響からスポーツによる交流は中止になりました。そのかわりに、精神障がい者やその家族、支援者の皆様に、新しい生活様式を行う中で、工夫したこと、良かったこと等を聞き、さわやかだより（協議会だより）に掲載し、こころの交流を図りました。

約 30 名の方々からお声をいただき、新しい生活様式での生活も、大変なことばかりではなく、普段気づくことのできなかったことに目を向ける機会になっていることが分かりました。



《いただいた声（抜粋）》

質問 1：新しい生活様式で困ったこと、悩んだこと	・ 外食やカラオケ等に行けなくなり、ストレス発散の場が減った。（患者） ・ 面会制限で本人と会う機会が減り、淋しい思いをしているのではないかという思いが強くなり、辛かった。（家族） ・ 支援方法が変わった。いかにして感染リスクを回避できるか試行錯誤を繰り返している。（支援者）
質問 2：困ったこと、悩んだことへの工夫	・ テイクアウト等して外食気分を味わった。（患者） ・ 面会時は笑顔を絶やさないようにした。買い物はなるべく人が少ない時間帯に行き、手洗い・うがいを徹底した。（家族） ・ 電話でのモニタリング。対面を避けての面接。訪問は必要最小限にした。（支援者）
質問 3：新しい生活様式で見つけた良かったこと	・ マスクや手洗いの徹底で風邪をひかなくなった。（患者） ・ 時間を有効に活用する意識が強くなった。外出を控えたため、金銭の節約になった。（家族） ・ 利用者だけではなく職員の感染に対する意識が向上した。班に分けた方が訓練の効率が良い等の発見があった。（支援者）

【地域移行支援研修会】

相談支援事業所及び精神科医療機関の職員を対象に、書面による統合失調症患者の事例検討を行いました。事例については、当協議会の下部組織であるプロジェクトチーム検討会のメンバーで作りました。

対象機関には、「考えられるニーズ・課題」、「各機関で支援できること」、「他機関と連携が必要なこと」、「利用できそうな地域の資源」について検討していただきました。

各機関から回答していただいた検討内容は、令和 3 年度に対象機関と共有する予定です。

【協議会だより「さわやかだより第 21 号」の発行】

令和 3 年 3 月に発行しました。

延岡地域精神保健福祉協議会

当協議会は、延岡市における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的にさまざまな事業を行っています。

【延岡ハートフルレクリエーション大会】

- 期 日：令和2年11月、12月
- 場 所：吉田病院、延岡保養園、延岡保養園デイケア、延岡市地域活動支援センターみなと
- 参加者：202名（スタッフ含む）
- 内 容： 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年度は複数の団体を集めることになるハートフルスポーツ大会は行わず、各団体でのレクリエーション大会として開催しました。参加者の楽しみを増やすため、参加賞や上位賞を準備しました。種目は各団体にお任せし、参加者は卓球バレーやグラウンドゴルフ等 様々な種目に取り組みました。参加者からは「参加賞がもらえて嬉しい」「久しぶりの大会で、体を動かすことができて楽しかった」「コロナの影響で外出できない分、こういうのがあるとよい」等の感想が得られ、楽しいレクリエーション大会になりました。



【こころの広場】

心の健康づくりと精神障がい者支援、精神保健福祉情報の提供を目的としてこころの広場第36号を発行し、会員、関係機関、当事者及び家族、ボランティア等へ配布しました。

西臼杵地域精神保健福祉協議会

当協議会は、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的として、団体会員、個人会員で運営し、啓発活動を中心に事業を進めています。

【精神障がい者の就労継続支援事業所等活動費助成事業】

当協会では、精神障がい者が就労継続支援事業所等で働き、社会復帰に向けた訓練を行うことから、管内就労継続支援事業所に対し、働く場の環境整備や就労に必要な知識や能力向上のための訓練やその他活動に要した費用について、活動費助成を行っています。



【協議会だより「精神保健福祉 たかちほ」の発行】

こころの健康づくりと精神障がい者支援、精神保健福祉情報の提供、啓発を目的として、年1回広報誌を発行し、管内全世帯及び会員、関係機関等に配布しています。

第27号は、『コロナ禍でもこころを守るヒントを知ろう』をテーマに作成しました。

巻末には、管内の相談先、当協議会が主催する「家族のつどい」や西臼杵地域の障がいを持つ方の集まり「楽しみ会 こねっと」の紹介を行いました。



令和3年度「宮崎県精神福祉連合会」活動紹介

特定非営利活動法人 宮崎県精神福祉連合会

理事長 桑畑 貴志

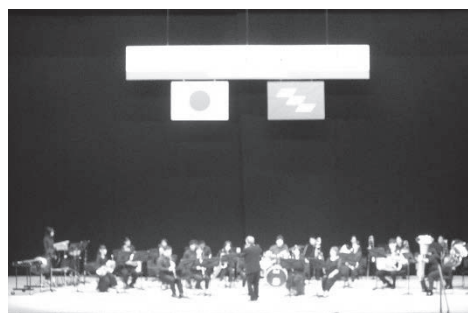
「宮精連」は、精神障がいを抱えるご本人と、そのご家族で構成されている家族会です。この家族会を発足したのが2006年（H18）ですので今年で15年になります。設立の目的は、当事者やその家族が孤立しないよう、同じ困難を抱える仲間同士との連携を深め、社会からの偏見や差別から身を守ることにあります。そのために様々な問題を共有する中で、お互いを助け励ましあい、苦しみや不安を和らげ、生きる希望につながることを願っている団体です。

昨年度は新型コロナの世界的拡散の影響で、人との接触を回避できた広報紙「みやせいれん」の年4回の発行活動を通じて情報発信に替えました。

県内各地に理事が分担しながら出前出張し各地域で悩みを抱えるご家族との家族交流を開催する計画も残念ながら実現できませんでした。その中でも家族会構成団体のひとつである「小林こすもす家族会」さんがコロナ対策に配慮しながら、地域の家族と音楽演奏会を実施できたことが特筆されます。

今年度は九州7県の合同で「九州ブロック宮崎大会」の計画があります。感染防止策を講じながら、開催のスタイルをどうするかが課題です。

人との接触を避けながら、精神障がい者を抱える家族を支援する活動の困難を、どう乗り越えてゆけるのか、今年度も悩んでおります。



第60回県精神保健福祉都城大会



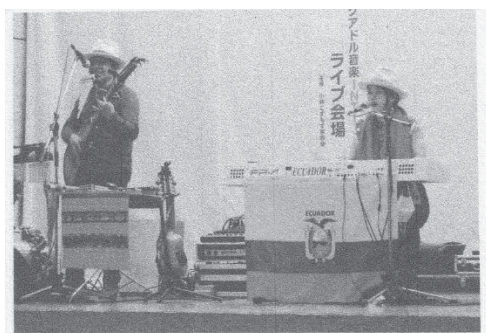
第60回県精神保健福祉大会 表彰式



全国家族会とのTV会議風景



宮崎県精神保健福祉
連絡協議会会長表彰



小林こすもす会活動

『断酒会・仲間と共に』

一般社団法人 宮崎県断酒友の会
理事長 藤山 学

2019年12月に中国湖北省武漢市で「原因不明のウイルス性肺炎」として最初の症例が確認された新型コロナウイルス感染症の世界的流行（パンデミック）の影響を受け、2020年4月我が国においてもクラスター感染の発生と連鎖、感染経路不明の市中感染の拡大、院内感染の拡大により、感染予防のため緊急事態宣言が発令され、断酒会は県、行政からの要請に基づき、各支部（7支部）に対し集合例会の中止、予防対策の対応を通知した。

2020年の当会、年間行事の全てが中止の選択を行い、会員、家族の感染予防対策を重視、集会自粛、3密回避、8割の接触削減の指針により全国の断酒会は、公共施設の閉鎖に伴い一泊研修会、セミナー開催、ブロック大会、全国大会等が、すべて中止になり、数年前から準備、実行委員会を立ち上げ、ミーティングを重ねてきた苦悩は、感染症に打ち砕かれた。

2021年、変異新型コロナウイルス感染症の影響を受け、イベント開催、研修会などの開催も、中止をせざる得なくなり、アルコール依存症対策として、自助グループ断酒会として唯一の例会開催が、感染予防対策を推進しながら、地域の断酒会を通じて、お酒で悩み、苦しむ人達の支援活動を促進し、躍進しなければなりません。

宮崎県断酒友の会として、次の主たる目的に掲げ活動を展開し貴重な社会資源としての役割を果たして行く。

【目的】

宮崎県断酒友の会は、宮崎県内においてアルコール依存問題に関する酒害の予防と啓蒙を行い、酒害の及ぼす社会悪の防止に努めるとともに、断酒を実行するアルコール依存症者の自立支援、自律更生に寄与し社会復帰の促進及び酒害の再発防止を図り、よって社会福祉の向上に貢献することを目的とする。

断酒会は、上記の目的に資するため、次の事業を行う。

- 1 アルコール依存症者及びその家族支援への例会の開催
- 2 地域に密着した支部結成の促進及び育成支援
- 3 講演会、研修会及び相談会の開催
- 4 パンフレット及び広報紙等の発行、配布による普及啓発活動
- 5 酒害相談員の育成、酒害者、家族等の酒害相談の対応と支援
- 6 アルコール依存症者に対する偏見から人権を守る活動
- 7 アルコール問題に関する医療・行政・福祉及び他団体等との連携協力
- 8 その他、この目的達成するために必要な事業

地域生活支援センターすみよし

SUMIYOSHI



『地域活動支援センター』は障がい者等が自立した日常生活及び社会生活を営むために必要な支援を行うとともに、精神保健福祉士等の専門職を配置し、医療、福祉、及び地域の社会基盤との連携を図るための調整等を行うことにより障がい者等の福祉向上を図る事を目的として設置されています。

『地域活動支援センターすみよし』でも、各種の創作活動・当事者ミーティング・レクレーション・昼食会を実施し、地域で生活されている方々がより楽しく、安心して生活できるよう活動の企画運営に努めています。また、日々の生活の中での困り事、相談事にも対応させて頂いています。

地域活動支援センター事業Ⅰ型

■『遊音くらぶ』『クラフト教室』『生花』『手芸くらぶ』



参加された方の感想

『思い切り歌が歌えて楽しいです』、
『皆で集まってお喋りしながらのんびりと参加できて楽しい』、『自分の花が飾られると嬉しい』等など・・・



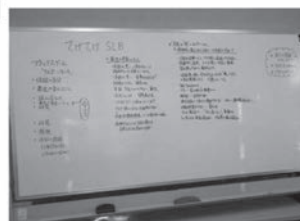
参加された方の感想

『1つのテーマで意見交流して、共有感が得られるので楽しい』、
『人の考えに触れて新たな気づきが得られる』等など・・・



地域活動支援センター事業Ⅰ型

■『すみカン』『てげてげSLB』



地域活動支援センター事業Ⅰ型

■『昼食会』『おやつデイ』毎月1回開催



参加された方の感想

『みんなで料理して食べるのは楽しい』、『温かい食事が食べられるのは嬉しい』、『食べた人が“美味しい!!”と喜んでくれるのが嬉しい』等など・・・

社会福祉法人 清樹会 地域生活支援センターすみよし

〒880-0121 宮崎市大字島之内字馬出7217-1

TEL (0985)30-2524 ホームページURL <http://www.seiju-kai.jp>



就労継続支援 B 型事業所

特定非営利活動法人

ふれあいスポット

かがやき



自家農園での野菜栽培



季節ごとの野菜作り・販売

作業内容

地域農家との連携による活動（スイトピー・ほおすき）

剪定・除草作業／飼肥杉間伐材利用箸づくり／食品加工



スイトピー作業



地域との交流



ほおすき栽培



住所：〒889-2523 宮崎県日南市大字松永 1784 番地 TEL/FAX (0987)23(1127)

ガルヒ就労支援サービス合同会社



Science Fiction? Science Fact!!

住所:〒885-0077

宮崎県都城市松元町11-6

西駅前木野田ビル103号

TEL:0986(36)8885

FAX:0986(36)8886

Mail: info@garhish.com

URL: https://garhish.com/



気になる方はコチラ

就労移行支援

企業で働きたい方へ、必要な知識と能力の訓練や実習をサポート、就労に関する相談を行っております。また、一人一人に合った就職を目指し、就職後における職場定着のため必要な支援をしております。

作業内容

- ➡ ITスキル習得訓練
- ➡ 就職に必要なビジネスマナー
- ➡ 面接・履歴書の書き方 等

就労継続支援A型

一般企業への就労が困難な方や雇用に結びつかなかった方へ、就労を提供する支援です。この支援を通し、必要な知識や技術を身につけ一般就労を目指していきます。

作業内容

- ➡ システム開発
- ➡ ホームページ制作
- ➡ デザイン 等



パソコンを触ったことがない方でも

1からスタートする事が出来ます。

安心して学習できる環境です。

ブランクがある方、仕事が長続きしない方、初めて就職を目指す方等、その方に合わせて学習できますのでご安心ください。

1から技術を身につけて、お仕事に繋がいませんか?

ブルーマーリン

都城市松元町 11-6 西駅前木野田ビル 103 号
TEL.0986(36)8885 FAX.(36)8886

オレンジマーリン

都城市平江町 14-6 ブルースカイ平江 3F
TEL.0986(51)8222 FAX.(51)8223

ホワイトマーリン

宮崎市中村東 2 丁目 1 番 3 6 号 2F
TEL.0985(33)9208 FAX.(33)9209

グリーンマーリン

小林市細野 2 3 6 番地 7
TEL.0984(27)3351 FAX.(27)3352

ネイビーマーリン

宮崎市大淀 4 丁目 1 1 番 2 号 オクノビル 201 号
TEL.0985(77)8595 FAX.(77)8596



NPO 法人西諸地域活動センター菜の花 就労継続支援 B 型 菜の花作業所

精神や身体、知的等様々な障がいを持つ人が、地域や社会の中でその人らしく安定した暮らしが出来るように、仕事を通して『心地よい一日が送れる場所』『働く楽しさを感じ笑顔の絶えない場所』を目指して、自立に向けての生活支援と就労支援を行っています。

菜の花では、毎日ミーティングを行います。

ミーティングは人の話を聞く、否定しない、褒め合う、自分の思っていることを言葉にするなどコミュニケーション能力が自然に身に付きます。

パン・クッキー・小物製造販売

作業所では無添加・無着色のパン・クッキーの製造販売をしております。

縫製部門では、季節の飾りや、マスク、バッグなど作っています。

福祉売店と作業所で販売しています。



レクリエーション

月に2～3回程度、心と体のリフレッシュとしてレクリエーションを行います。

青空の下でスポーツをしたり、梨狩り、クリスマス会など季節を感じる行事を行っています。



リサイクル作業・地域清掃活動

ペットボトルのラベル剥しやアルミ缶潰し、段ボール・古紙の仕分けなどの作業をしています。

地域清掃活動では、毎朝作業所周辺の道路を掃除し、地域の方が気持ち良く且つ安全に通行できるようにしています。



施設概要

《所在地》

宮崎県小林市真方 209 番地

《TEL》0984-23-6090

《FAX》0984-48-6101

《E-mail》

kb_nanohana_wks@aioros.ocn.ne.jp

《サービス提供日》

月曜～金曜（祝・盆年末年始は除く）

《利用時間》

9 時 00 分～14 時 30 分

《送迎サービス》

有り（西諸・えびの管内）

《食事提供》

有り（月 4～5 回程度）

障がいのある子どもたちが、高等部卒業後に通う学びの場として。また、急ぎすぎた就労により意欲をなくした方のための再出発の場として。

それぞれが目標とする自立に向けて、基本的な生活習慣の獲得から一般就労への移行まで支援します。

生活訓練・就労継続支援B型

チャレンジキャンパスくうねる遊ぶ



くうねる遊ぶが目指す 三つの柱



豊かな生活

くうねる遊ぶ
毎日の食事をおいしく食べる
日中しっかりと体を動かして
夜はぐっすりと寝る
自分で得た収入は自分のために
有意義に使い、就労へのモチベーションへ。

地域社会とつながる

地域と積極的にかかわり、障がいを持つ人の理解を深め、共に生きる社会をつくる。
生きる喜びを共感できる仲間作りのお手伝い。

自立・自律

自立 作業スキルの獲得・金銭・健康管理。必要な支援を受けながら出来ることは自分の力で。
自律 自己決定と自己分析、自分らしさを失わず、自分自身を引き受ける強さ、内面的な成長を支援。

生活訓練（定員 6名・利用期間2年）

基本方針

毎日元気に楽しく通所し、様々なスキルを獲得していきましょう。

挨拶、お金、時間、健康、公共の場でのルール、円滑な人間関係のためのコミュニケーション等『学びの時間』や『SST』を通して支援します。

目標

2年後を見据えて、併設しているカフェや、企業で実際に作業を行いましょう。きちんと作業ができるようになれば工賃が支払われます。毎日働く体力と安定した情緒を獲得しましょう。

就労継続支援B型（定員14名）

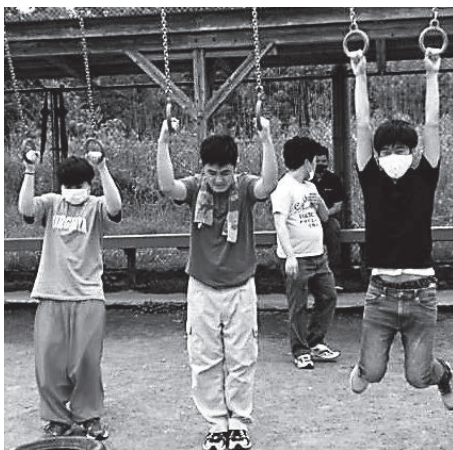
基本方針

準備された様々な作業を通して職業準備性※を身に付けていきましょう。積極的に地域に出向き（施設外就労先）自分に合った環境・作業を見つけましょう。楽しく働くことで、充実した日々を実感できるように支援します。

※働くことについての理解、生活習慣、作業能力、対人スキルなどの基礎的な能力のこと

目標

安定した生活習慣や情緒、継続して働くことで得た工賃、地域での就労経験を活かし、さらなるステップアップ（就労継続支援A型・一般就労）を目指しましょう。



笑いと涙の余暇活動・体力づくり

施設外就労（B型） カフェ・食肉加工工場 メンテナンス



事業所内での内職



自立（生活）訓練では個々の課題に合わせて、字の練習や電卓、洗濯やお皿洗い等々…

事業所 児湯郡新富町富田2丁目79
利用時間 9:00～16:00

TEL・FAX 0983-32-1164
開所日 月曜～金曜日（土曜開所 1日/月）

施設外就労先

Caffe&zakka CAROLINA

ランチとハンドメイド雑貨のお店



※お弁当の注文もお受けできます。

宮崎市山崎町下ノ原 969-10

Tel 0985-89-5668

就労継続支援A型事業所 「ぐらんま茶寮」

障がいのある方の「働く楽しさ」応援します！！

利用できる方

- 精神障がい、知的障がい、発達障がいのある方で、一般就労を目指す方
- 高鍋町、新富町、木城町、川南町、都農町、西都市にお住まいの方

送迎 必要な方には送迎を行います。

昼食 おいしいお昼ご飯を用意しています。

ご相談、お問い合わせもお気軽に！！

児湯郡高鍋町大字蚊口浦1-20
TEL: 0983-35-4301
FAX: 0983-35-4302

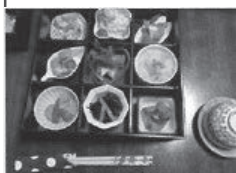
★事業所のお仕事★

- 飲食部門（4店舗） 調理や接客をします
- 清掃メンテ部門 建物のお掃除や駐車場の整備をします
- パソコン部門 店舗の広告や書類・帳票の作成をします

飲食部門の紹介です！

和カフェ ぐらんま茶寮

TEL: 0983-35-4301
高鍋町蚊口浦1-20



ぐらんま茶寮 ザ・キッチン

TEL: 0983-22-0007
高鍋町北高鍋1368-4



一番人気☆

えび天



高鍋に「おにぎり・天むす

専門店」が OPEN しました！

就労継続支援A型ぐらんま茶寮に
古民家カフェ・バイキングレストラン・

お弁当屋さんに続き四番目の
ブランド（訓練所）おにぎり専門店
ぐらんま・デリ誕生！！

ぐらんまDELI

TEL: 0983-22-5539
高鍋町大字蚊口浦9-1 コスタ高鍋1F



就労支援B型事業所 福丸縁



平成 23 年に日向市細島港の近くに“福丸縁”を開設致しました。

福丸縁は、様々なハンディキャップを抱え、社会で生きにくさを感じている人たちが働くための力をつける場所です。

障がいのある方が、少しでも豊かな暮らしができるように、工賃をお支払いし、利用者様たちの暮らしを守るという使命もあります。

「ありがとう」「感謝します」「ついてます（ラッキー）」を合言葉に、誰よりも明るく、楽しくをモットーに取り組んでおります。

作業内容

厨房 かぶえ ポップコーン作り 請負作業(切り干し大根の選別 電化製品のメンテナンス トマト・スッキニの袋詰めなど)



製造・販売商品

- ✦ ジェリーズポップコーン
- ✦ オリジナルドレッシング
- ✦ 手芸品(アクリルたわし)

事業所情報

〒883-0062

日向市大字日知屋 3389 番地 48

☎ 0982-57-3638

FAX:0982-57-3536

送迎:日向市 門川町 延岡市

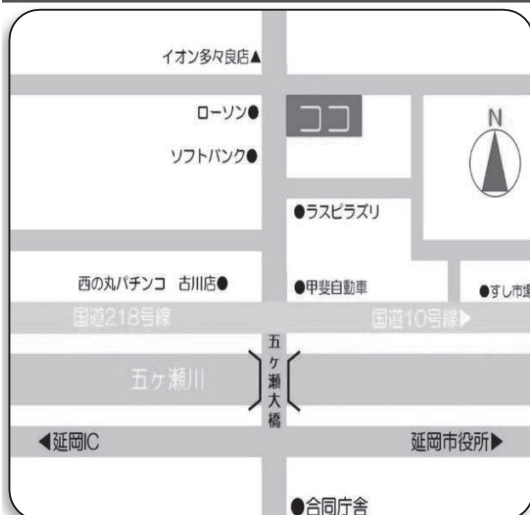
定員:20 名

平均工賃:19868 円(令和 2 年度)





有限会社 はーと介護
就労移行支援事業・就労継続支援B型事業
多機能型事業所 **パワーはーと**



◆◆ 所在地 ◆◆

〒882-0057

宮崎県 延岡市 岡富町 798番地 36

TEL:0982-20-5577

E-Mail:kaigo@heartcare.link

FAX:0982-20-5588

HP:http://www.heartcare.link

◆◆ 受付時間 ◆◆

月曜日～金曜日 8:00～17:30

祝・祭日、営業 土・日休み。

工賃：一日 2,000円から 時給：500円（皆勤手当有り）

弁当の提供有り 一食：200円

送迎：有り（無料）

定員 就労移行支援：6名 就労継続支援B型：14名

◆◆ 作業内要 ◆◆

《 はーとベーカリー2店舗での作業 》

パンの成型・パン生地製造の補助・パン生地の材料の計量
お客様が使用になったトレーやトングの洗浄と除菌
パン製造時に使用した食器の洗浄。
あんこやカレーの計量と丸め作業・ゆでた卵の殻割、
ゆでたジャガイモの皮むき。配達用のポップやシール作り
そのシールをパン袋への貼り付け作業（銘柄や成分表）。

《 パワーはーと事業所での作業 》

焼き菓子（クッキー等）の袋詰め、袋のシール貼り
パン袋の準備、外注のお菓子の箱詰め作業
簡単なパソコン作業（ポイントカードやポップ制作）
厨房での食器洗い・片付け。
洗車作業・清掃作業、 移動販売で使用するチラシ制作



就労場所のはーとベーカリー2店舗



トレーの拭き取り



食器洗い中



ポイントカードです



移動販売にて、パンが目の前で売れていくので、気分上々。

事業所内でのパン袋の準備



この車に乗って移動販売



パンが出来上がるまで！！



はーとベーカリー
Heart Bakery

はーとベーカリーのロゴマーク

私たちの事業所では、利用者一人一人の能力に合わせ無理なく、楽しく、作業を行って頂いており、また、パン作りを通じての仲間意識（コミュニケーションの構築）、移動販売活動での接客対応（接客マナー）の習得、様々な作業を行う事での対応性・行動力・巧緻性のレベルアップ、事業所に通う事によって生活のリズム・習慣が規則的になり、日々の生活にメリハリが付き就労に対しての意欲が湧いてきます。

社会福祉法人 光紀会

ひかり工房

住所：宮崎県延岡市古川町74-1

TEL：0982-34-1389

FAX：0982-23-1617

ホームページ：<http://koukikai7.com>

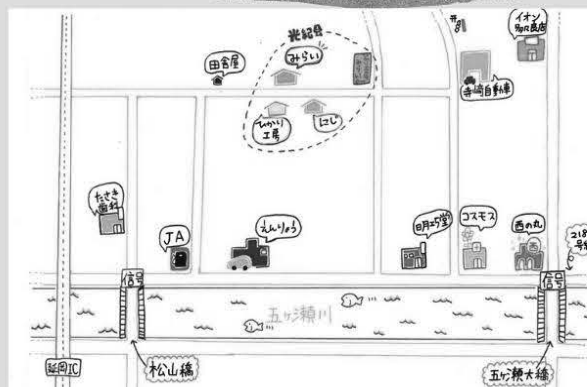


～就労移行支援事業～

企業で働きたい方のために、通所による就労や生産活動の機会を提供するとともに、一般就労に必要な知識、能力が高まった利用者は、一般就労等への移行に向けて支援します。

～就労継続支援B型事業～

障がいにより企業などへの就職が困難な方に対し、自立した日常生活や社会生活ができるよう就労の機会を提供します。



軽印刷部

パソコンの基礎を習得し、応用力をつけていきます。
文書や名刺等の作成を請け負いWord、Excelの技術向上を図っていきます。

食品部

ロールケーキや各種クッキー等の商品を衛生管理・品質管理に常に配慮し、丁寧な作業で手作りしています。

木工部

木材を用いた製品づくりを中心に作業に取り込み、季節に応じた商品も作成しています。

軽作業部

古紙や牛乳パックを再利用した製品作りが中心となります。

弁当部

日替わり弁当、ご飯大盛り、レディース弁当、おかずのみなど、いろいろなサイズをご用意致しております。



インスタでお弁当の写真を毎日更新中です。hikarikoubou341389



生活介護事業所みらい



住所：宮崎県延岡市古川町111番地
TEL：0982-20-5252

グループホーム にじ



住所：宮崎県延岡市古川町76番地1
TEL：0982-34-8603

フラワーパークのぞみ工房

〒882-0301 宮崎県西臼杵郡日之影町大字七折 535
TEL/FAX : 0982-88-1158
E-mail:f-nozomi@ma.wainet.ne.jp



～事業所の理念～

「働くこと」「暮らすこと」を支援し、地域で自立した生活を支える

フラワーパークのぞみ工房は、平成 23 年に開設した就労継続支援 B 型事業所です。

障がい種別は問わず、さまざまな障がいをお持ちの方が通所されています。利用者さんが地域で自立した生活を送ることができるよう働くこと、暮らすことを支援させていただいています。働くことを通して、「稼ぐ喜び」と、自分が「必要とされること」「認められること」でやりがいを感じていただくことを大切にしています。また、生活面についても、困ったことを一緒に解決していくことで、より良い生活が送れるように、一人ひとりに寄り添い、それぞれの目標に向かって、日々楽しく過ごせる場の提供を行っています。

【作業内容】

- ・原木栽培椎茸の駒打ち
(自主事業用と受託用)



林福連携・SDGs な取り組み！

- ・椎茸収穫
(自主事業)



- ・乾燥椎茸足切り作業
(受託作業)



- ・青竹箸の作成 (受託作業)



1本1本手作り！職人技！

- ・入院時洗濯作業 (受託作業)



超高齢社会日之影町を支える仕事！

- ・施設外就労 (清掃・草刈り等)
一人暮らし高齢者の家掃除
空き家等のゴミ片付け
観光施設のトイレ清掃など



- ・キンカン加工 (受託作業)



道の駅「青雲橋」で販売している
キンカンソフトクリーム用！

- ・豚足加工 (受託作業)



日之影町 ジモミヤめし
「左近」豚足の唐揚げ用！



宮崎県精神保健福祉連絡協議会だより

令和２年度事業実績

1. 会議開催

- (1) 第1回総会（令和２年５月25日予定 → 書面議決）
 - ① 役員の選任について
 - ② 令和元年度事業実績について
 - ③ 令和元年度収支決算について
 - ④ 第60回宮崎県精神保健福祉大会概要について
 - ⑤ 第60回宮崎県精神保健福祉大会大会テーマ及び特別講演について

- (2) 第1回理事会（令和２年８月３日予定 → 書面議決）
 - ① 精神保健福祉功労者の会長表彰の選考について
 - ② 精神保健福祉みやざき（第60号）の発行について
 - ③ 第60回宮崎県精神保健福祉大会の入場者決定方法について

- (3) 第2回総会（令和３年３月８日）
 - ① 令和３年度事業計画（案）について
 - ② 令和３年度当初予算（案）について
 - ③ 第61回宮崎県精神保健福祉大会開催概要及び特別講演等について
 - ④ 令和３年度の全体テーマ及び大会テーマについて
 - ⑤ 会則別表第１の改正について

2. 大会開催

- (1) 第60回宮崎県精神保健福祉大会
令和２年10月31日（土） 都城市総合文化ホール大ホールにて開催
参加人数 311名

3. 精神保健福祉功労者表彰

- (1) 県大会時表彰状及び記念品授与 6件（個人4名、団体2）

4. 支援・助成

- (1) 精神保健福祉関係団体助成事業 (助成額 35万円)
 - ① 宮崎県精神福祉連合会 (助成額 30万円)
 - ② 宮崎県断酒友の会 (助成額 5万円)

5. 普及・啓発

- (1) 機関誌「精神保健福祉みやざき（第60号）」の発行・配布（800部）
- (2) 啓発誌「心の健康（No.75）」の作成・配布（8,000部）
- (3) 専用ホームページの運用
- (4) 検索システム「こころ安心・相談ネット（愛称：みやざきこころ青Tねっと）」の運用

6. その他

- (1) 九州精神保健福祉協議会理事会（大分市）令和2年10月30日予定 → 書面開催

令和3年度事業計画

1. 大会開催

- (1) 第20回宮崎県障がい者スポーツ大会
令和3年5月9日（日）（会場：ひなた宮崎県総合運動公園、宮崎市総合体育館他）
- (2) 第61回宮崎県精神保健福祉大会

2. 精神保健福祉功労者表彰

- (1) 第61回宮崎県精神保健福祉大会時に表彰状授与

3. 普及・啓発事業

- (1) 機関誌「精神保健福祉みやざき（第61号）」の発行・配布（600部）
- (2) 啓発誌「心の健康（No.76）」の作成・配布（8,000部）
- (3) 広報媒体「専用ホームページ」等の運用
ホームページアドレス（<http://www.miya-seiren.com>）
- (4) 「こころ安心・相談ネット（愛称：みやざきこころ青Tねっと）」の運用
ホームページアドレス（<http://www.m-aot.net>）
- (5) 「自殺対策強化月間（3月）」関連普及啓発
パネル展示、チラシなどの配布

4. 各種団体に対する助成

- (1) 宮崎県精神福祉連合会が実施する啓発活動等への助成
- (2) 宮崎県断酒友の会が実施する啓発活動等への助成

5. 総会・理事会の開催

- (1) 第1回総会（5月31日（月）開催予定）
令和2年度事業実績・決算承認など
- (2) 第1回理事会（8月2日（月）開催予定）
会長表彰者決定、機関誌発行など
- (3) 第2回総会（3月14日（月）開催予定）
令和4年度事業計画・当初予算、精神保健福祉大会など

6. その他

- (1) 九州精神保健福祉協議会理事会（宮崎県）11月12日（金）開催予定
- (2) 第68回精神保健福祉全国大会（埼玉県）

宮崎県精神保健福祉連絡協議会 役員名簿

令和3年10月1日現在

役 名	氏 名	役 職 名
会 長	高宮 眞樹	宮崎地域精神保健福祉協議会 代表
副 会 長	石田 康	宮崎大学医学部精神医学教室 教授
常務理事	直野 慶子	宮崎県精神保健福祉センター 所長
理 事	三山 吉夫	宮崎大学 名誉教授
理 事	谷口 浩	日南串間地域精神保健福祉協議会 代表
理 事	河野 仁彦	都城北諸地域精神保健福祉協議会 代表
理 事	内村 大介	西諸地域精神保健福祉協議会 代表
理 事	首藤 謙二	西都児湯地域精神保健福祉協議会 代表
理 事	二宮 嘉正	日向入郷地域精神保健福祉協議会 代表
理 事	吉田 建世	延岡地域精神保健福祉協議会 代表 宮崎県精神科医会 会長
理 事	植松 昌俊	西臼杵地域精神保健福祉協議会 代表
理 事	田中 洋	宮崎県精神科病院協会 会長
理 事	中村 究	宮崎県精神科診療所協会 会長
理 事	山下 栄次	宮崎県福祉保健部福祉保健課 部参事兼課長
理 事	重盛 俊郎	宮崎県福祉保健部障がい福祉課 課長
理 事	桒畑 貴志	宮崎県精神福祉連合会 理事長
理 事	藤山 学	宮崎県断酒友の会 理事長
理 事	永田 照明	宮崎県障害者社会参加推進センター 所長
監 事	興梠 寛治	宮崎県社会福祉協議会 事務局長
監 事	瀧口 俊一	宮崎県保健所長会 会長

●役員数：理事18名（会長1名、副会長1名、常務理事1名を含む）、監事2名

●役員任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日（2年間、新任者も同じ）

宮崎県精神保健福祉連絡協議会 会員名簿

正会員

令和3年10月現在

組織・団体名	郵便番号	所在地住所	電話番号	FAX 番号	ホームページ
宮崎地域精神保健福祉協議会	880-0032	宮崎市霧島1-1-2 中央保健所内	0985-28-2111	0985-23-9613	
日南串間地域精神保健福祉協議会	889-2536	日南市吾田西1-5-10 日南保健所内	0987-23-3141	0987-23-3014	
都城北諸地域精神保健福祉協議会	885-0012	都城市上川東3-14-3 都城保健所内	0986-23-4504	0986-23-0551	
西諸地域精神保健福祉協議会	886-0003	小林市大字堤3020-13 小林保健所内	0984-23-3118	0984-23-3119	
西都児湯地域精神保健福祉協議会	884-0004	児湯郡高鍋町大字蚊口浦5120-1 高鍋保健所内	0983-22-1330	0983-23-5139	
日向入郷地域精神保健福祉協議会	883-0041	日向市北町2-16 日向保健所内	0982-52-5101	0982-52-5104	
延岡地域精神保健福祉協議会	882-0803	延岡市大貫町1-2840 延岡保健所内	0982-33-5373	0982-33-5375	
西臼杵地域精神保健福祉協議会	882-1101	西臼杵郡高千穂町大字三田井1086-1 高千穂保健所内	0982-72-2168	0982-72-4786	
一般社団法人 宮崎県精神科病院協会	880-0013	宮崎市松橋1-1-32 コーポはまゆう7F	0985-60-2671	0985-60-2672	
一般社団法人 宮崎県精神科診療所協会	880-0806	宮崎市広島1-17-21 中村クリニック内	0985-32-7830	0985-32-7831	
宮崎大学医学部臨床神経科学講座 精神医学分野	889-1692	宮崎市清武町木原5200	0985-85-2969	0985-85-5475	http://www.med.miyazaki-u.ac.jp
社会福祉法人 宮崎県社会福祉協議会	880-8515	宮崎市原町2-22 県福祉総合センター内	0985-22-3145	0985-27-9003	http://www.mkensha.or.jp
宮崎県精神科医会	889-0511	延岡市松原町4-8850 吉田病院内	0982-37-0126	0982-37-0233	
特定非営利活動法人 宮崎県精神福祉連合会	880-0014	宮崎市鶴島2丁目9-6 みやざきNPOハウス405号	0984-22-8622	0984-22-8622	
一般社団法人 宮崎県断酒友の会	889-1701	宮崎市田野町甲6172-1	090-4588-2310	0985-86-0650	
宮崎県障害者社会参加推進センター	880-0007	宮崎市原町2-22 県福祉総合センター内	0985-26-2950	0985-55-0258	
宮崎県保健所長会	880-0032	宮崎市霧島1-1-2 中央保健所内	0985-28-2111	0985-23-9613	
宮崎県福祉保健課	880-8501	宮崎市橋通東2-10-1	0985-26-7074	0985-26-7326	http://www.pref.miyazaki.lg.jp
宮崎県障がい福祉課	880-8501	宮崎市橋通東2-10-1	0985-32-4471	0985-26-7340	http://www.pref.miyazaki.lg.jp
宮崎県精神保健福祉センター	880-0032	宮崎市霧島1-1-2	0985-27-5663	0985-27-5276	http://www.seihocenter-miyazaki.com
宮崎大学名誉教授	889-1911	北諸郡三股町大字長田1270 老年期精神疾患センター内	0986-52-5800	0986-52-5573	

賛助会員

病院・診療所名	郵便番号	所在地住所	電話番号	FAX 番号	ホームページ
宮崎大学医学部附属病院精神科	889-1692	宮崎市清武町木原5200	0985-85-2969	0985-85-5475	http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/hospital
医療法人清芳会 井上病院	880-0123	宮崎市大字芳士80	0985-39-5396	0985-39-2410	http://www.inoue-hp.net
社会医療法人同心会 古賀総合病院	880-0041	宮崎市池内町数木1749-1	0985-39-8966	0985-39-0634	http://www.kgh.or.jp
医療法人真愛会 高宮病院	880-0841	宮崎市吉村町大町甲1931	0985-24-5678	0985-22-1571	http://www.takamiya.or.jp
一般財団法人弘測会 野崎病院	880-0916	宮崎市大字恒久5567	0985-51-3111	0985-51-3114	http://www.koujunkai.jp
医療法人慈光会 宮崎若久病院	880-0945	宮崎市福島町寺山3147	0985-51-1548	0985-52-7394	http://www.miyazaki-wakahisa.com
社会医療法人如月会 若草病院	880-0804	宮崎市宮田町7-37	0985-28-2801	0985-20-0819	http://www.miyazaki-wakakusa.or.jp

賛助会員

病院・診療所名	郵便番号	所在地住所	電話番号	FAX番号	ホームページ
一般社団法人藤元メディカルシステム 大悟病院	889-1911	北諸県郡三股町大字長田1270	0986-52-5800	0986-52-5573	http://www.fujimoto.or.jp
医療法人恵心会 永田病院	885-0084	都城市五十町5173	0986-23-2863	0986-23-2238	http://www.nagatahp.or.jp
一般社団法人藤元メディカルシステム 藤元病院	885-0055	都城市早鈴町17-4	0986-25-1315	0986-25-2473	http://www.fujimoto.or.jp
医療法人一誠会 都城新生病院	885-0093	都城市志比田町3782	0986-22-0280	0986-25-1958	http://www.shinsei-hp.jp
医療法人隆誠会 延岡保養園	882-0863	延岡市緑ヶ丘5-14-30	0982-33-6396	0982-35-3370	http://www.ryuseikai.com
医療法人建悠会 吉田病院	889-0511	延岡市松原町4-8850	0982-37-0126	0982-37-0233	http://www.yoshidahospital.or.jp
医療法人同仁会 谷口病院	887-0034	日南市大字風田3861	0987-23-1331	0987-23-7739	http://www.taniguchi-hospital.jp
医療法人浩然会 内村病院	886-0002	小林市水流迫852番地1	0984-23-2575	0984-22-6442	http://www.uchimura-hospital.jp
医療法人信和会 小林保養院	886-0003	小林市堤2939	0984-22-2836	0984-22-5341	http://www.kobayashihoi.or.jp
医療法人和敬会 国見ヶ丘病院	882-1102	西臼杵郡高千穂町大字押方1130	0982-72-3151	0982-72-3153	http://www.kunimigaoka.or.jp
医療法人十善会 県南病院	888-0001	串間市大字西方3728	0987-72-0224	0987-72-5967	http://www.kennan-hospital.or.jp
医療法人向洋会 協和病院	883-0021	日向市大字財光寺1194-3	0982-54-2806	0982-54-3319	http://www.kyowahospital.jp
医療法人望洋会 鯨島病院	883-0033	日向市大字塩見14168	0982-54-6801	0982-53-7313	http://sameshima-hp.jp
医療法人社団慶城会 瀧井病院	883-0033	日向市大字塩見11652	0982-52-2409	0982-52-2403	http://keijoukai.pr.miten.jp/modules/myalbum1
特定医療法人浩洋会 田中病院	889-0623	東臼杵郡門川町宮ヶ原4-80	0982-63-2211	0982-63-2211	http://www.tanaka-hp.or.jp
医療法人恵喜会 西都病院	881-0023	西都市大字調殿1010	0983-43-0143	0983-43-3625	https://saito-hospital.com
医療法人りっか会 ビア・ささき病院	880-0211	宮崎市佐土原町下田島21230	0985-73-1811	0985-72-0640	http://www.peer-ricka.jp
医療法人新花会 あいクリニック	880-0879	宮崎市宮崎駅東1-6-7	0985-25-0085	0985-25-5882	http://www.ai-clinic.pro
医療法人社団静心会 近間クリニック	880-0031	宮崎市船塚1-2	0985-24-6662	0985-24-7008	
医療法人社団凌雲会 福永内科神経科医院	889-1607	宮崎市清武町加納1-29-2	0985-85-6006	0985-55-0886	
医療法人芳明会 早稲田クリニック	880-0933	宮崎市大坪町西六月2197-1	0985-53-3030	0985-54-5151	http://www.houmei.or.jp
野田クリニック	882-0052	延岡市萩町52	0982-35-7789	0982-34-0085	
こころメンタルクリニック	880-0905	宮崎市中村西3-2-33	0985-55-1777	0985-55-1789	http://www.miyazaki-catv.ne.jp/~kogomentalclinic
北野メンタルクリニック	880-0824	宮崎市大島町南窪814-4マルコービル105	0985-22-7588	0985-22-7587	
福) 宮崎県社会福祉事業団 向陽の里診療所	880-1101	東諸県郡国富町大字本庄1407	0985-75-7752	0985-75-2979	
医療法人ハートピア みよしクリニック	880-0001	宮崎市橘通西1-5-3	0985-35-1100	0985-38-1711	https://heartpia.net
サザンクリニック	880-0912	宮崎市大字赤江830-1	0985-50-5771	0985-50-5663	
みずのメンタルクリニック	883-0041	日向市北町1-2	0982-50-0855	0982-57-3627	
医療法人聖心会 中村クリニック	880-0806	宮崎市広島1丁目17-21 ポレスターアーバンシティ広島 1F	0985-32-7830	0985-32-7831	http://www.nakamura-cl.com
あけぼの診療所	889-1703	宮崎市田野町あけぼの2丁目5番地 1	0985-74-5600	0985-74-5601	http://www.akebono-hp.com/
医療法人社団博心会 大山脳神経外科クリニック	889-1411	児湯郡新富町富田1丁目3番地2	0983-26-8111	0983-33-6365	
医療法人弘文会 松岡内科医院	883-0014	日向市原町 1丁目2番2号	0982-52-5407	0982-52-9891	
大貫内科	882-0803	延岡市大貫町5丁目1646番地1	0982-28-2200	0982-32-1500	
医療法人こぶしクリニック	880-0941	宮崎市北川内町乱橋3628-3	0985-64-1010	0985-64-1012	

宮崎県精神保健福祉センターからのお知らせ

※新型コロナウイルス感染症の流行状況により中止となる場合があります。実施状況については宮崎県精神福祉センターへお問い合わせ下さい。

ひきこもりに関する相談のご案内

- ・ ひきこもって6ヶ月以上になる
- ・ どこに相談したらよいかわからない

宮崎県ひきこもり地域支援センター

TEL : 0985-27-8133 0985-44-2411

※8:30～17:00（土日・祝日・年末年始を除く）

※まずはお電話ください。



カラダのゲンキはココロから。

宮崎こころの保健室

思春期におけるこころの問題に関する相談窓口やストレス診断に加え、メールによる相談も受け付けています。

詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

【アドレス】 <http://miyakoro.com>

精神科医による診療相談のご案内

ご本人やご家族の悩みに専門の精神科医が個別に相談に応じます。

相 談	主な内容	日 程	時 間
一般診療相談	精神的な不調全般	第1・3水曜日	いずれも 午後2時 ～午後4時 (予約制)
ストレス診療相談	ストレスによる精神的な不調、うつ病等	第2・3・4月曜日	
薬物関連診療相談	アルコール、薬物、ギャンブル等の依存症	第1・3水曜日	
思春期精神保健診療相談	思春期の精神的な不調等	第2・4木曜日	

※日程・時間は、医師の都合等により変更となることがあります。

予約受付電話：TEL(0985)27-5663

家族教室のご案内

精神疾患（障がい）についての家族のための教室を開いています。精神科医等の話を聴き、病気や障がいへの理解を深め、家族の対応方法を学びます。

開催時期、内容についてはお問い合わせください。

TEL(0985)27-5663

- 依存症家族教室
- 発達障害家族教室
- ひきこもり家族教室

家族のつどいのご案内

同じ悩みを持つ家族同士が、つらい気持ちや不安を共有することで、混乱し孤立した状況から解放され、まずは家族自身が回復することを目的としたグループミーティングを行っています。

(匿名参加可)

開催日時についてはお問い合わせください。

TEL(0985)27-5663

- ギャンブル依存症者の家族のつどい
- 薬物依存症者の家族のつどい

こころの電話相談

月曜日～金曜日【午前9時～午後7時】

(祝祭日、12/29～1/3を除く)

専門の電話相談員が相談をお受けします。

※様々な悩みを幅広くお受けしています。今のつらい気持ちをただ聴いてもらいたい方もお気軽にどうぞ。

専用回線：TEL(0985)32-5566

図書室利用についてのご案内

センター内にある図書室は、どなたでもご利用できます。貸出しも行っています。

- 図書 専門書、一般向け雑誌など
- ビデオ DVD 精神疾患の理解や精神障がい者の支援に関するものなど
- パネル こころの健康、うつ、統合失調症、アルコール依存症やギャンブル依存症等各種シリーズがあり、研修会や各種行事等の展示としてもご利用できます。
※ホームページにパネル等を掲載しています。
※新型コロナウイルス感染症の流行状況により閉鎖となる場合があります。

宮崎県精神保健福祉連絡協議会

宮崎県精神保健福祉連絡協議会や関係各団体の活動など精神保健福祉の取り組みを紹介しています。

【アドレス】 <http://www.miya-seiren.com/>

宮崎県精神保健福祉センター付近略図



交通のご案内

【宮崎駅から】

- タクシー：約10分
- バス利用：宮崎ナナイロ前バス停まで徒歩10分
宮崎ナナイロ前バス停から7番線（下北方行）で和知川原バス停下車徒歩5分
又は8番線（平和台行）で花殿町バス停下車徒歩5分

宮崎県精神保健福祉センター

〒880-0032 宮崎市霧島1丁目1-2 宮崎県総合保健センター4階

TEL : 0985-27-5663 / FAX : 0985-27-5276

【アドレス】 <http://www.seihocenter-miyazaki.com/>

精神保健福祉みやざき(第61号)

令和3年10月発行

編集発行 宮崎県精神保健福祉連絡協議会
〒880-0032 宮崎市霧島1-1-2
TEL 0985-27-5663
FAX 0985-27-5276
印刷製本 有限会社 K・I印刷
〒880-0056 宮崎市神宮東3-6-19
TEL 0985-65-4024

編集委員会 委員名簿

中央保健所健康づくり課	主任保健師	寺 町 真由美
日南保健所健康づくり課	主任技師	中 川 優 馬
都城保健所健康づくり課	主任保健師	與那嶺 佑 樹
小林保健所健康づくり課	技 師	中 野 佳 穂
高鍋保健所健康づくり課	主任技師	宮 里 瞳
日向保健所健康づくり課	技 師	藏 元 真理子
延岡保健所健康づくり課	技 師	塩 田 瑞 月
高千穂保健所健康づくり課	主任技師	有 村 めぐみ
精神保健福祉センター	副 所 長	鹿 嶋 晋
	主幹兼主任	飯 尾 文 将
	主 査	高 橋 賢 二

精神保健福祉

みやざき



この広報紙は赤い羽根募金の配分を受けて発行しています。

宮崎県精神保健福祉連絡協議会

再生紙を使用しています